

絶対に許せない!! 在沖縄米軍兵士の少女集団レイプ事件に抗議!

在沖縄米軍海兵隊

Camp Hansen 司令官 殿

1995年9月18日

私たち長崎の女性たちは、9月4日沖縄で発生した少女レイプ事件に対して大変憤っています。この事件は周到な計画の下に、三人の兵士が一人の少女を拉致・監禁し、縛り上げた上輪姦したという非人間的な恐るべき犯罪です。これは性犯罪および児童虐待という二重の罪を犯したことになり、一人の少女のこれからの人生を破壊したという点で殺人にも値するものです。またこの事は、私たち日本の女性に多大な恐怖と屈辱感を与えました。

しかるに犯人は基地の中に保護され日本の警察が事情聴取できない状況にあります。たとえ日本地位協定があろうとも、即刻犯人たちを日本の警察に引き渡すことを私達は要求します。それがアメリカという民主主義国家の姿勢を示すことになるのです。

貴司令官の一刻も早い決断を要求します。

エデュテイメント・クラブ (海外生活経験者の集い)
憲法と平和を考える長崎女性の会
新日本婦人の会長崎県本部
長崎女の会
長崎市母と女性教職員の会
長崎女性史研究会
長崎ばってん・うーまんの会
長崎BPW (有職婦人クラブ)
長崎YWCA

代表: 長崎ばってん・うーまんの会

9月4日 沖縄県で発生した米軍兵士3人による小学校6年女子児童に対する集団暴行強姦事件は許すことのできない凶悪非道な犯罪です。

しかしこの凶悪犯人は日米安保条約下の「日米地位協定」により米軍基地内に保護され、沖縄県警の再三の申し入れにもかかわらず、日本側に引き渡されませんでした。(9月29日の起訴後やっと日本側に拘留)

私たちは従来、多く知られたように犯人が逃亡し、事件がうやむやになることを恐れ、すくまに沖縄米軍ハンセン基地の司令官に対して、犯人引き渡しを要求する文書を作成し、長崎を中心に活動する女性団体にも呼びかけ、連名で送付しました。(前ページがその日本語訳)

翌日このことが沖縄の新聞に報道されたところ、早速沖縄県の女性から「沖縄県以外の人々がこの事件に抗議してくれてとてもうれしかった。沖縄県民の励みになった」という電話が来たりきてとても感動しました。

この事は決して沖縄だけの問題ではありません。基地を抱える佐世保、米艦船の入港がくり返される長崎、そして米軍基地が存在する日本全体の問題なのです。(長崎でも9月15日米海兵隊員によるわいせつ事件、佐世保でも同じ頃殺人未遂事件が発生)

'95.9.18付 長崎新聞

'95.9.19付 朝日新聞 社会面

「暴行米兵の引き渡しを」
長崎の団体が意見書を沖縄県での米兵三人による小学生女児暴行事件で、「長崎はぼってんうーまんの会」など長崎市の女性問題を考える九つの市民団体が十八日、容疑者の身柄を早く日本の警察に引き渡すよう求める意見書を、在沖縄米海兵隊司令官あてに郵送した。

女児暴行事件で
沖縄に抗議文送る
長崎市内の女性団体
沖縄県で起きた米兵による女児暴行事件で「長崎はぼってんうーまんの会」など長崎市内の女性団体は十八日「性犯罪と児童虐待の二重の罪を犯した事件で、日本の女性に多大な恐怖と屈辱感を与えた」との抗議文を、在沖縄米海兵隊司令官あてに送った。ヒラリー・クリントン米大統領夫人にも同様の抗議文を送付する。

私たちは本当に怒っている!!

Date: 18 September 1995

Lt. General Camp Hansen
Commander-in-Chief
US Marine Corps in Okinawa

Dear Sir:

We, the women in Nagasaki, are outraged by the rape on a girl which happened in Okinawa on 4 September. This case is so inhuman and horrifying in the sense that the three military servicemen, set up a plan in advance, abducted a girl, confined her, and raped her repeatedly among three of them. This is a double crime, sex crime and child abuse. This crime is almost comparable to manslaughter as they completely destroyed her future. It also raised terrible fear and sense of humiliation among us, Japanese women.

Nonetheless, the servicemen suspected as criminals are still being protected inside the base and the investigation of the Japanese police has been halted as they are unable to interview the suspects at police station. We demand you to promptly release the suspects to the Japanese police even if the US - Japan Status-of-Forces Agreements allows you to protect them. If you positively cooperate with the Japanese police, the United States will deserve the name of the nation as "democracy".

We request for your prompt decision on this issue.

Faithfully yours,

Hisami Tsuda,
Leader, Nagasaki Batten Women's Group

List of Groups Supporting the Request:

Edutainment Club, Nagasaki Women's Group Studying the Constitution and Peace, Nagasaki Chapter of the New Japan Women's Association, Nagasaki Women's Group, Nagasaki City Organization of Mothers and Female Teachers, Nagasaki Council on Women's History, Nagasaki Batten Women's Group, Nagasaki BPW, Nagasaki YWCA

ヒラリー・R・クリントン殿
大統領夫人・保健問題担当官
ホワイトハウス

1995年9月30日

拝啓

同封いたしましたのは米軍海兵隊沖縄基地キャンプ・ハンセン司令官*に宛てた長崎の女性団体「ぼってんうーまんの会」からの書簡の写しです。日本の長崎の女性たちは米国の軍人による沖縄在住の一少女への強姦という恐るべき犯罪に、驚愕し憤っています。

先日私達の団体の会員は第4回国連女性会議のNGOフォーラムに出席致しました。ですから私達は貴女がなさった人権擁護の演説にいたく感動したことも記憶に新しく、こうして書簡を差し上げることに致しました。

この少女の身に起こったことを知っていただきたいのです。そして日米安全保障条約の一部である日米地位協定により、日本の警察が容疑者を事情聴取することもできず、容疑者は基地に保護されたままであるという事実私達がショックを受けていることを知っていただきたいのです。

ご返答を頂き、貴女のこの問題に関するご意見をお聞かせいただければ大変感謝致します。

そして、私たちはこの事件をアメリカ大統領夫人ヒラリー・クリントンさんにもぜひ知ってもらいたく、抗議文とともに手紙を送りました。(上記の文がその日本語訳)

~~~~~

その後、9月23日に、私たちは長崎市内の女性団体や平和団体とともに街頭署名活動を行いました。短い時間内に200名の署名が集まり、人々の関心の高さや憤りが伝わってきました。特に若い人たちの反応がすばしく、中学生、男子たちが並んでまで署名してくれました。やはり自分の身近な事件としてとらえているのでしょう。

また9月30日には、同じく女性団体や市民団体とともにデモ行進を行いました。雨の降る中、30団体、約100名の市民たちが参加し、「女性差別を許さないぞ」とシュプレヒコールを上げました。(大きな声で叫ぶのは怒りを発散できて気持ちよかったです)

Ms. Hillary R. Clinton  
First Lady

September 30, 1995

Administrator in charge of Health Care  
White House

Dear Ms. Hillary R. Clinton

Enclosed is a copy of a letter to Lt. General Camp Hansen, Commander-in-Chief of the US Marine Corps based in Okinawa, from "Batten Women's Group", a local feminist group in Nagasaki. The women in Nagasaki, Japan, are upset and deeply angered by this awful crime, the rape by US military servicemen on a Japanese girl living in Okinawa.

The other day, some of the members of our group participated in the NGO forum of United Nations Fourth World Conference on Women. Therefore, we vividly remember how much we were impressed with your speech advocating for human rights. This is why we are sending a copy of the letter to you.

We hope you will understand what has happened to the girl and how much we are shocked to know the fact that the Japanese police has no right to call up the suspects of the case as the US - Japan Status-of-Forces Agreement, a part of the US - Japan Security Treaty permits them to hide themselves inside the US military base.

We will appreciate it very much if you would kindly reply to us and let us know your opinion on this problem.



日米地位協定の改正などを求める街頭署名に応じる若者たち  
＝長崎市浜町＝

## 長崎では署名活動

県内30団体 真相究明など求め

沖縄で起きた米兵の女児暴行事件に抗議して、長崎、佐世保を中心とする県内の婦人団体や市民グループ約三十団体が二十三日、長崎市浜町のアーケード街で、日米地位協定の改正などを求める署名活動を展開。わずか十五分間に約二百人分の署名が集まり、市民の関心の高さをうかがわせた。

県被爆二世教職員の会、平和公園の被爆遺構を保存する会、長崎はつてん・うーまんの会などの代表約二十人が参加。「暴行事件を許

街頭署名は近く佐世保市でも実施。村山首相と河野外相あてに送る。

# 「米兵問題」抗議相次ぐ

## 「地位協定見直せ」と怒り

沖縄の米兵による小学生女児暴行事件に抗議する集会やデモが三十日、長崎、佐世保両市であったが、参加者からは「女児暴行事件を許すな」「日米地位協定を見直せ」と強い怒りの声が上がった。

長崎市の町の市民会館前広場であった「沖縄の米兵による『少女暴行事件』に抗議する緊急集会」では、身柄の引き渡しは何の解決にもつながらっていない。今で参加。県被爆二世教職員の会の平野伸人さんが「こ

9月31日付 読売新聞



雨の中、怒りの声をあげてデモ行進する長崎市民ら

参加者は次々に発言。ばつてんウーマンの会の葛西よう子さんは「今回の事件はすべての人間に突き付けられた恐ろしい犯罪。これは米兵だからというのではなく、戦争で人を殺すための訓練を受けている軍隊そのものに問題があるはず」と訴えた。事件の真相究明と犯人の厳重処罰、日米地位協定の見直し・改正、米軍基地の縮小・撤去を求める決議案を採択。その後沖縄の少女暴行事件を許すな」などのシュプレヒコールをしながら、同市の湊公園までデモ行進した。

原水協佐世保協議会の集会では、山下千秋理事長が「加害者の米兵が拘束され

ず、被害者の人権が守られなかった」と主張。米兵の犯罪根絶などを求める決議文を日米両国政府と米海軍佐世保基地に送ることを決めた。市民ネットワークさせはが同市の四ヶ町アーケードで実施した署名活動では「事件に対する政府、国会調査団の沖縄派遣、地位協定の早期改正」などを訴えた。署名した同市内の主婦三八は「とても人ごととは思えない」と話していた。同ネットワークで集まった署名は、県内の市民グループなどとともに、村山首相と河野外相に送付する。

NGO7オースラムの報告第2弾は次回へおしり。